

「医療」「健康」に向き合う新たなスタンダード「健康口座」

～地域を取り巻く社会課題への挑戦～



OKB 大垣共立銀行

基本理念

地域に愛され 親しまれ 信頼されるOKB

金融業からサービス業への挑戦!
「すべてはお客さまの目線から」
徹底した顧客満足度の追求

全国初の新商品・サービス

独自性へのこだわり

地域とともに

脱・銀行

ATM革命
革新的な店舗づくり

フィンテックへの挑戦

OKBブランドの確立

地域における存在感の極大化

お客さま目線から生まれた「金融機関初」のサービス

年中無休ATM（1994年9月）
国内金融機関初



移動店舗（2000年4月）
全国金融機関初



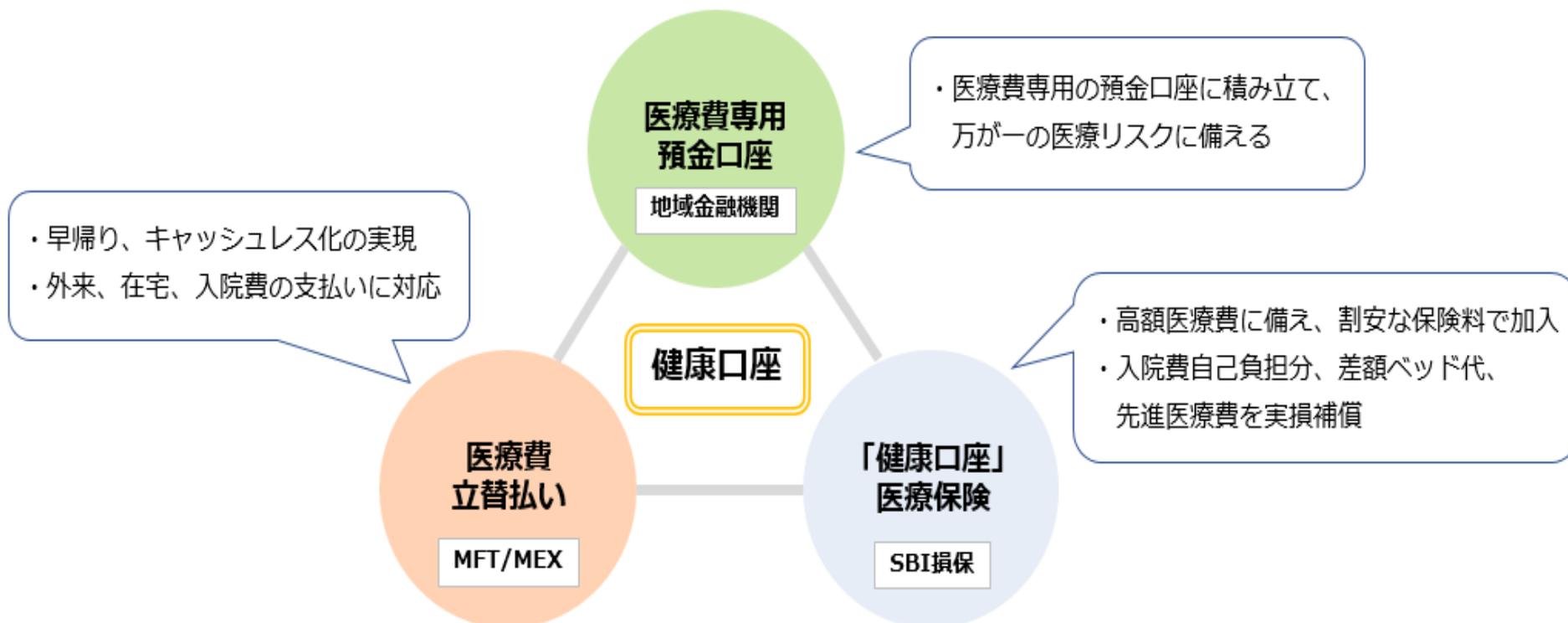
不妊治療関連ローン（2009年12月）
全国金融機関初



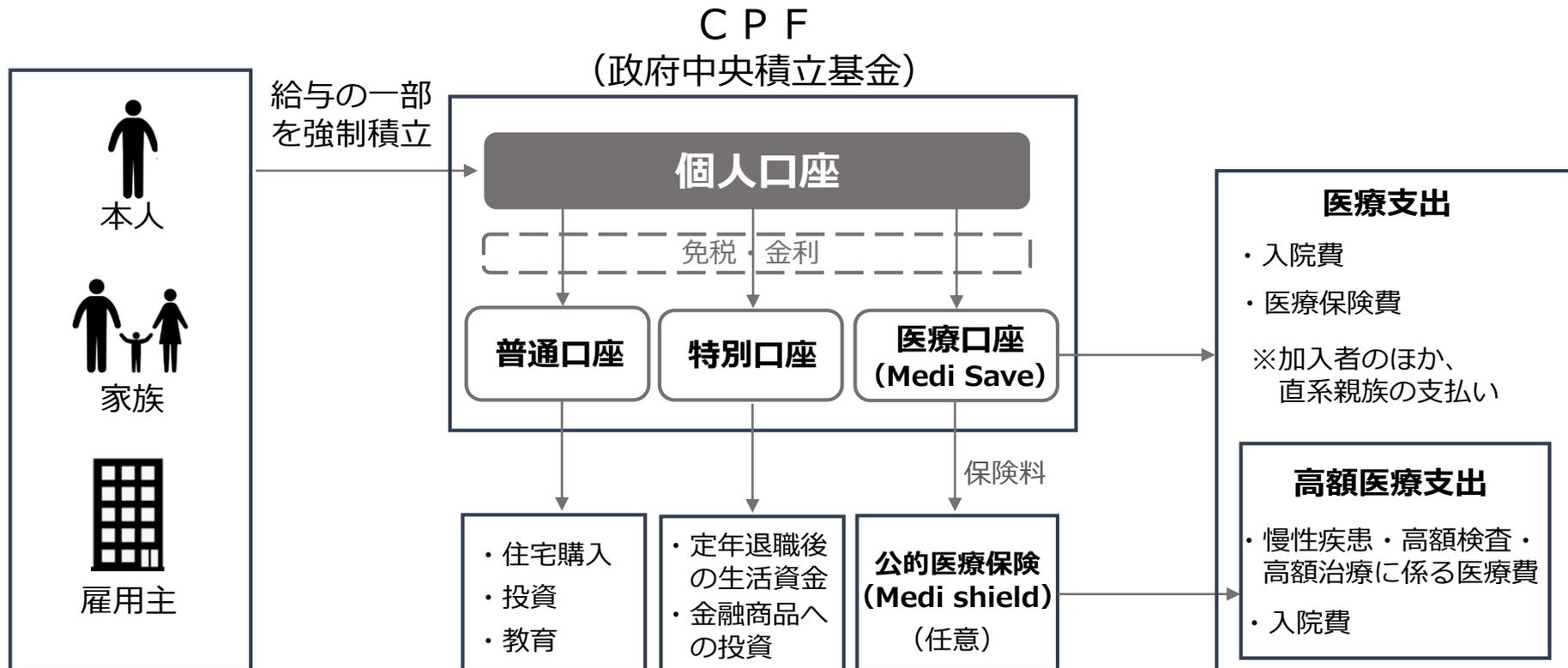
このほかにも、お客さまの声、
社会課題から生まれた様々なサービスが…



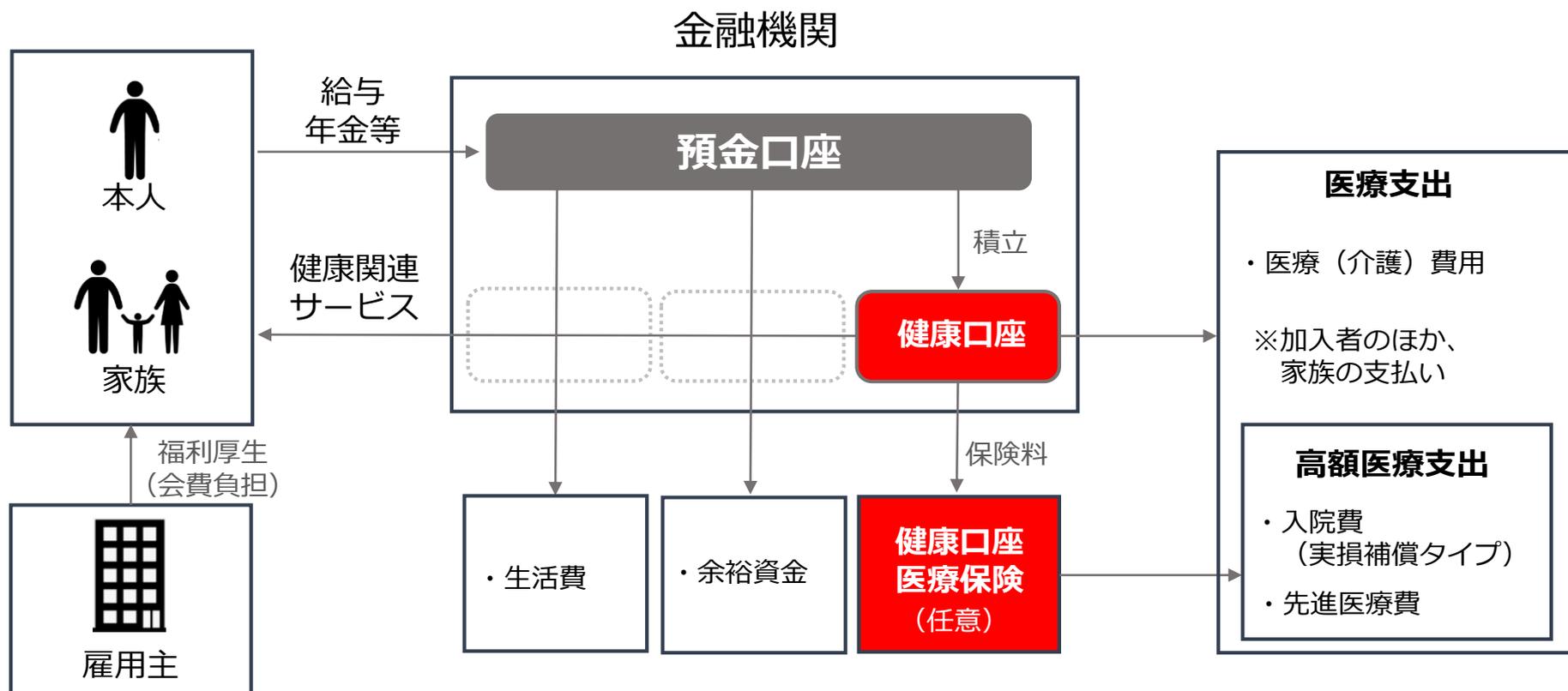
- 「健康口座」は、金融機関・日本メディカルビジネスグループ(MFT/MEX)・SBI損保が共同で提供する『**預金・後払い決済・保険**』が**三位一体**となった、将来の医療リスクに備えるためのサービス
- シンガポールの社会保障財源方式（Medisave）に範をとり、「**自分の健康・医療は自らの貯蓄**を主とし、それを超えるリスクを**最小限の保険でカバー**する」というコンセプトを具体化したもの



- 社会保険制度の代わりに、国が強制加入の医療貯蓄制度 + 公的医療保険の仕組みを整備
- 自ら給与の一部を医療口座へ貯蓄



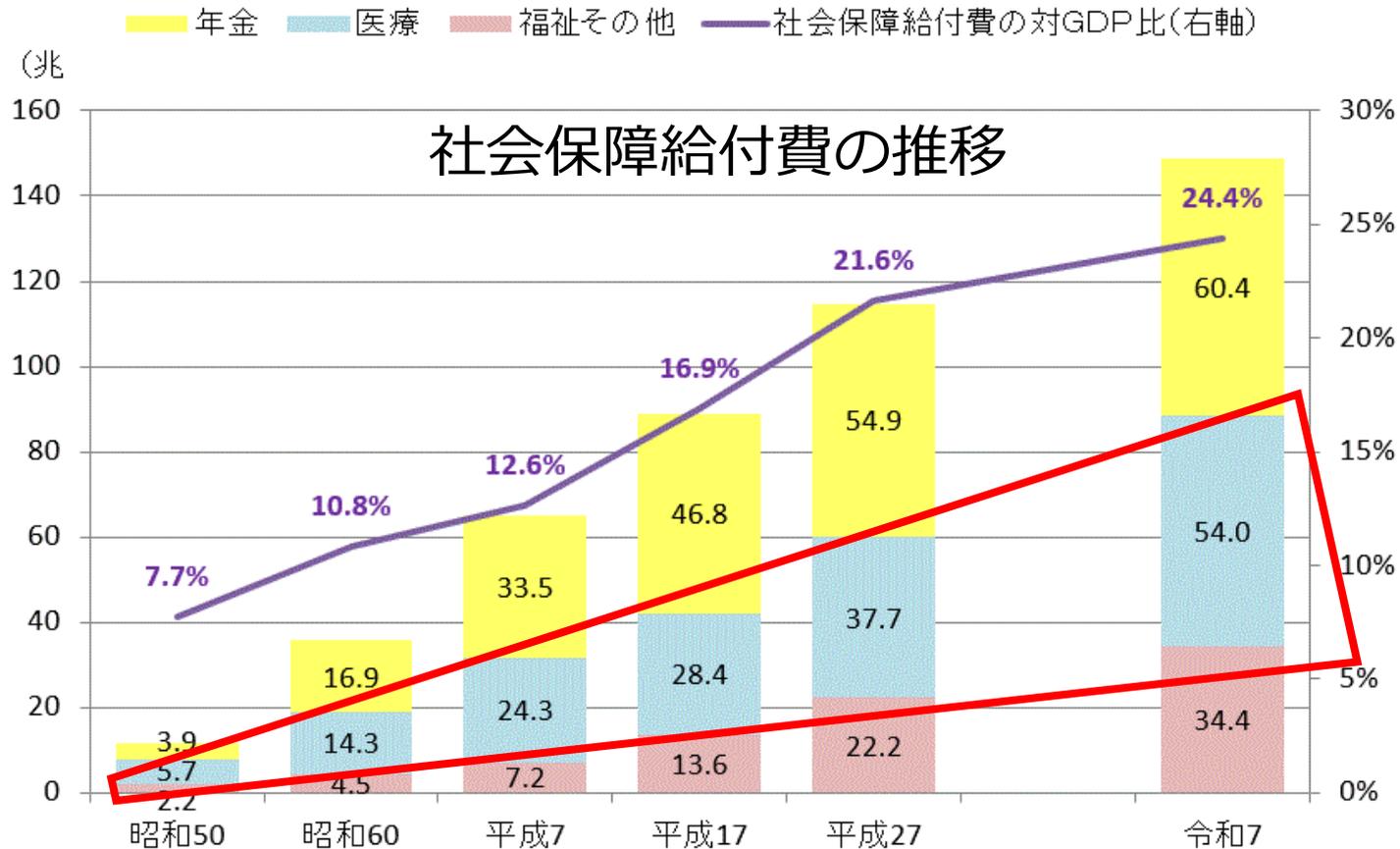
- 将来必要な医療費（介護費）に自ら積立、備えるための専用口座
- 万が一の高額の医療費には必要最小限の医療保険でカバー（実損補償）
- そもそも健康であるための健康関連サービスも付帯



- 「健康口座」は、金融機関が提供する将来の医療費の支払いに備える「専用口座」に、日本メディカルビジネスグループが提供する「医療」「健康」軸での4つの会員サービスがセットされたサービス

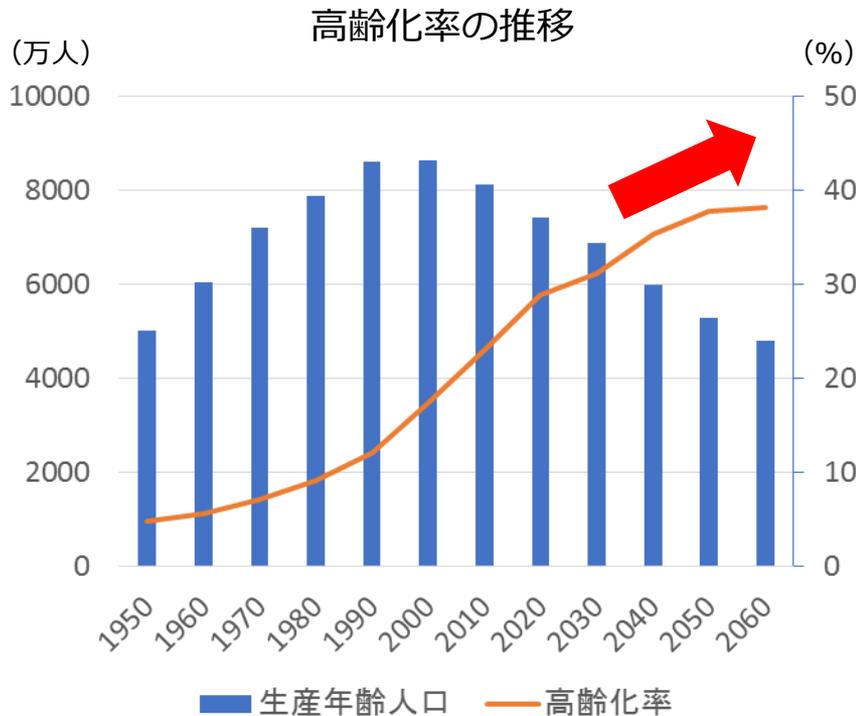


少子高齢化や医療技術の進展、疾病構造の変化等による 社会構造の変化と現状の仕組みの間のギャップに対する課題認識

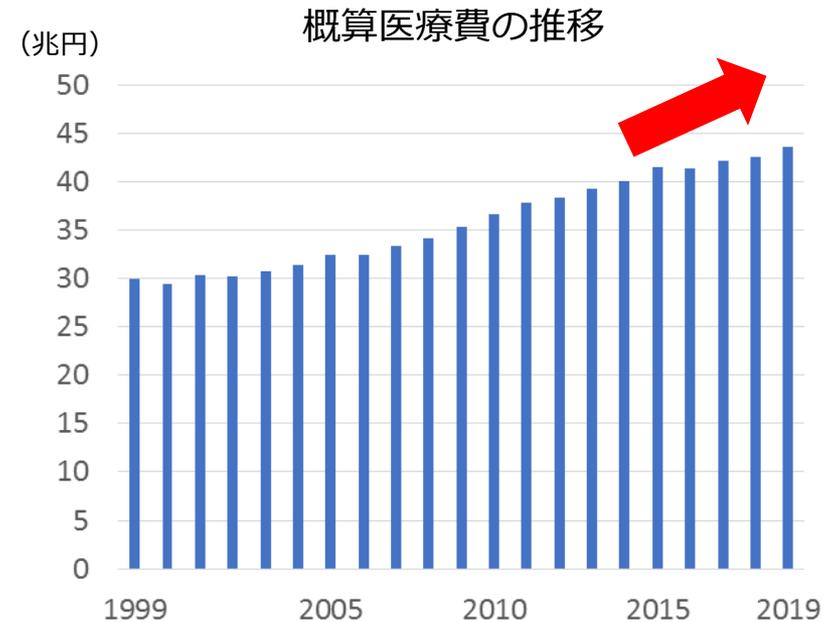


国税庁HP「国の財政～社会保障関係費」より

少子高齢化、医療費の高騰が進行し、社会保障だけでは「医療」「健康」に必要な資金を将来賄えなくなるリスク



出所：内閣府「高齢社会白書」



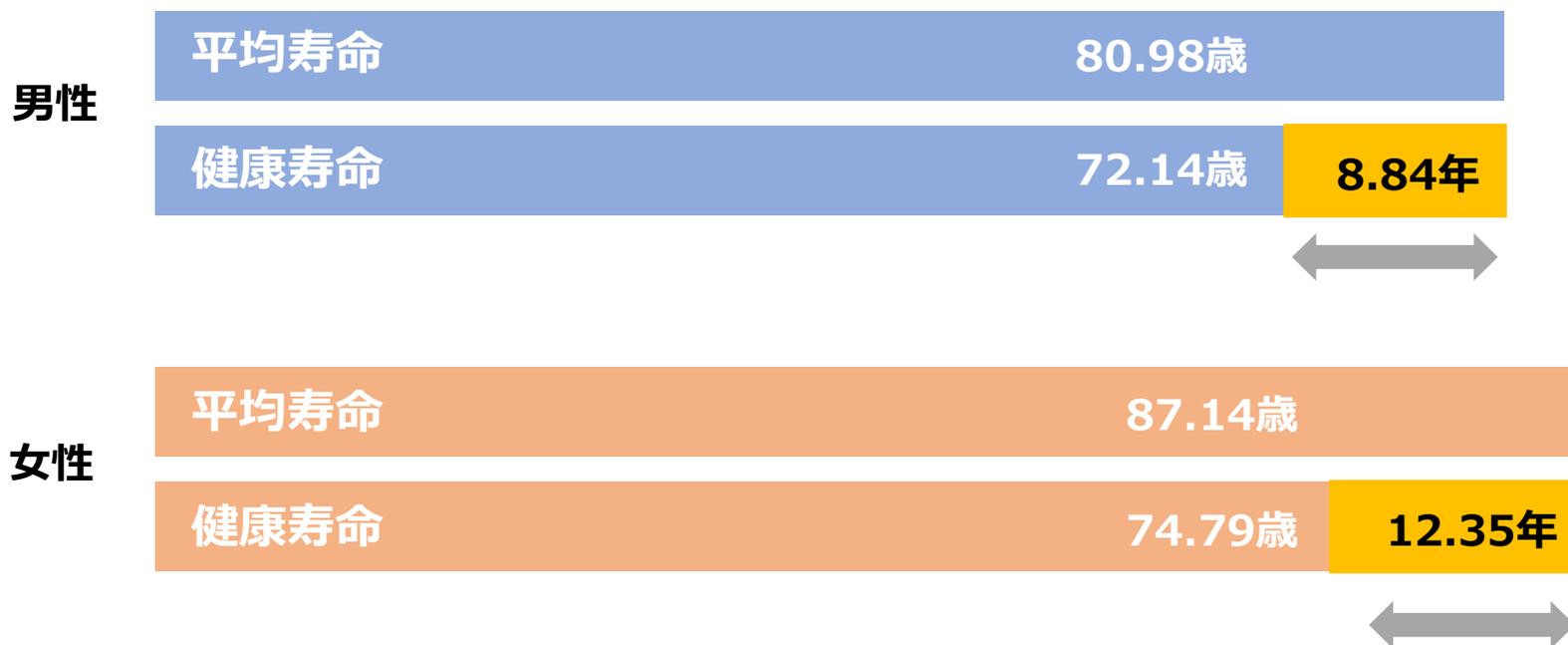
出所：厚生労働省「医療費の動向調査」



少子高齢化や疾病状況の変容、医療費の推移から予見される将来の公的保険給付厳格化に自ら備えるための仕組みが必要

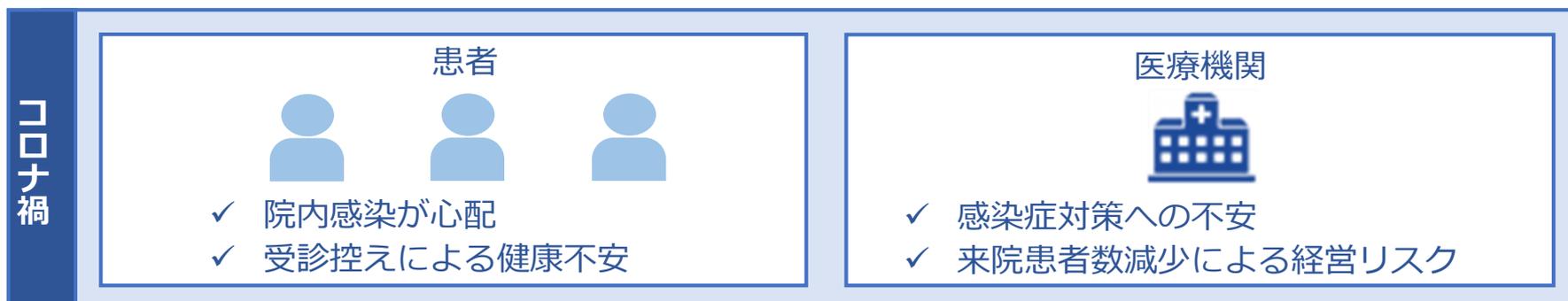
健康寿命の長期化およびお客さまの Quality of Life の向上に貢献することを目指す

■ 平均寿命と健康寿命の差（2016年時点）



厚生労働省HPより

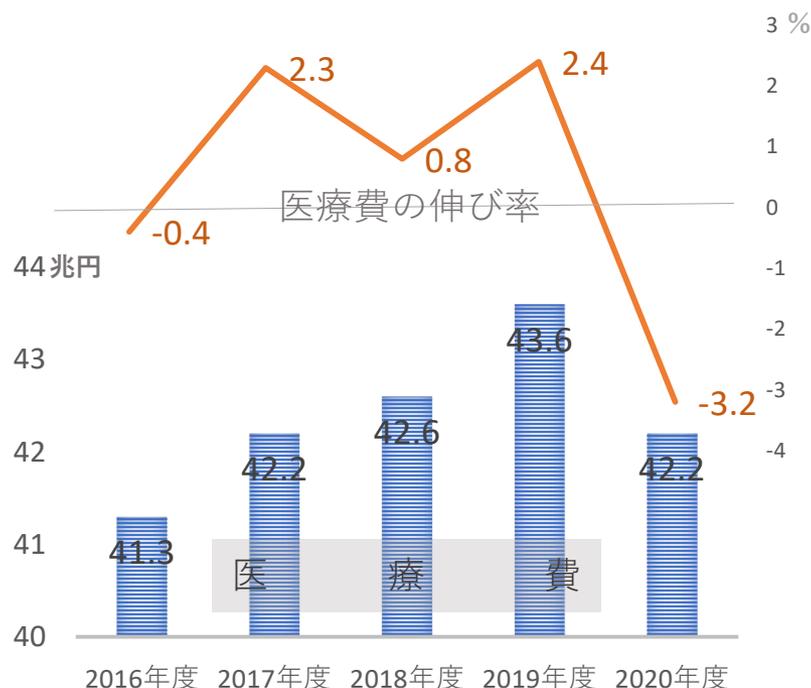
医療機関における会計のDXにより、安心して受診できる環境を確保



コロナ後 感染症は収束しても終息しないものとして社会全体で向き合っていくものに
(感染症対策・在宅医療体制・オンライン医療体制の強化)

- ◆ 新型コロナによる受診控えにより、2020年度の概算医療費が42.2兆円と前年度比で1.4兆円（3.2%減少）（小児科・耳鼻咽喉科が2割減）⇒医療費の反動増を招くリスク

◆ 医療費の動向



厚生労働省「令和2年度 医療費の動向」

【コロナで受診控えが続く】

- ・産婦人科を除くすべての診療科で前年度を下回る。
- ・小児科が22.2%減、耳鼻咽喉科では19.7%と大きく、外科11.5%減、内科4.3%減と続く。
- ・コロナウイルスを恐れて外来や検査の受診を自ら控えた影響のほか、衛生面の向上や、軽症患者の行動が適正化したことも要因と捉えられる。
- ・コロナ患者対応に医療資源を集約化・重点化した影響で、予定入院予定手術の延期や病棟・病床を一部閉鎖する動きも医療費減をもたらした。
- ・小児科、耳鼻咽喉科は小児の受診が多く、小児は自分の病状を表現することが難しいため、「重篤な疾病が隠れている可能性がある」という点に配慮が必要。

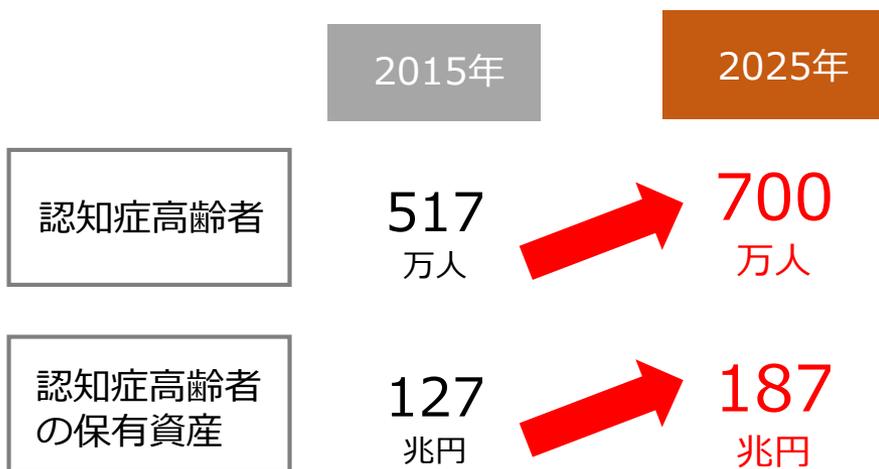


患者様がより安心して受診・相談ができるサービスを活用することで
受診控えによる重症化リスクを未然に回避

認知症/独居高齢者ともに増え続けていく見込みであり、
医療費や介護費用のための預金管理が課題に

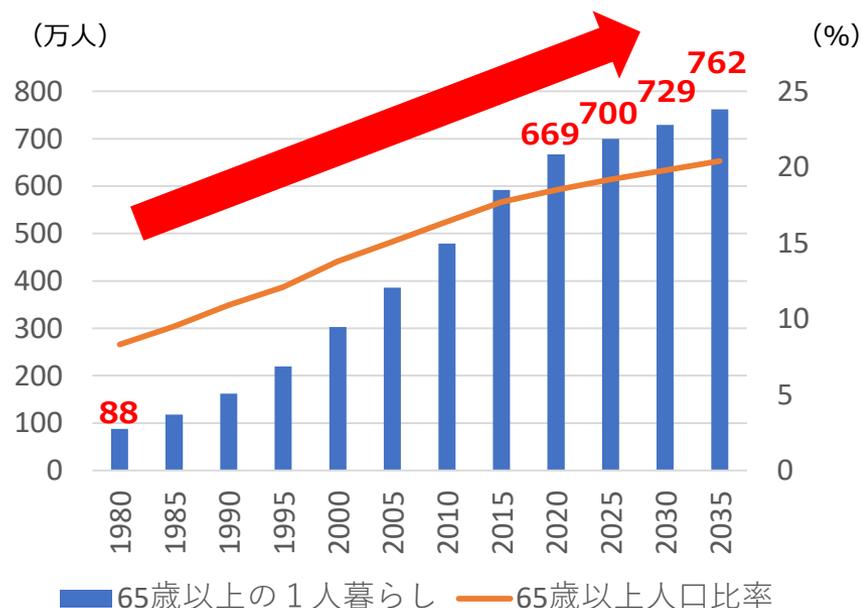
専用口座で医療費支払いに必要な資金を管理/可視化するニーズ

◆ 認知症高齢者の人口



金融庁「金融審議会市場ワーキンググループ事務局説明資料」

◆ 独居高齢者の人口

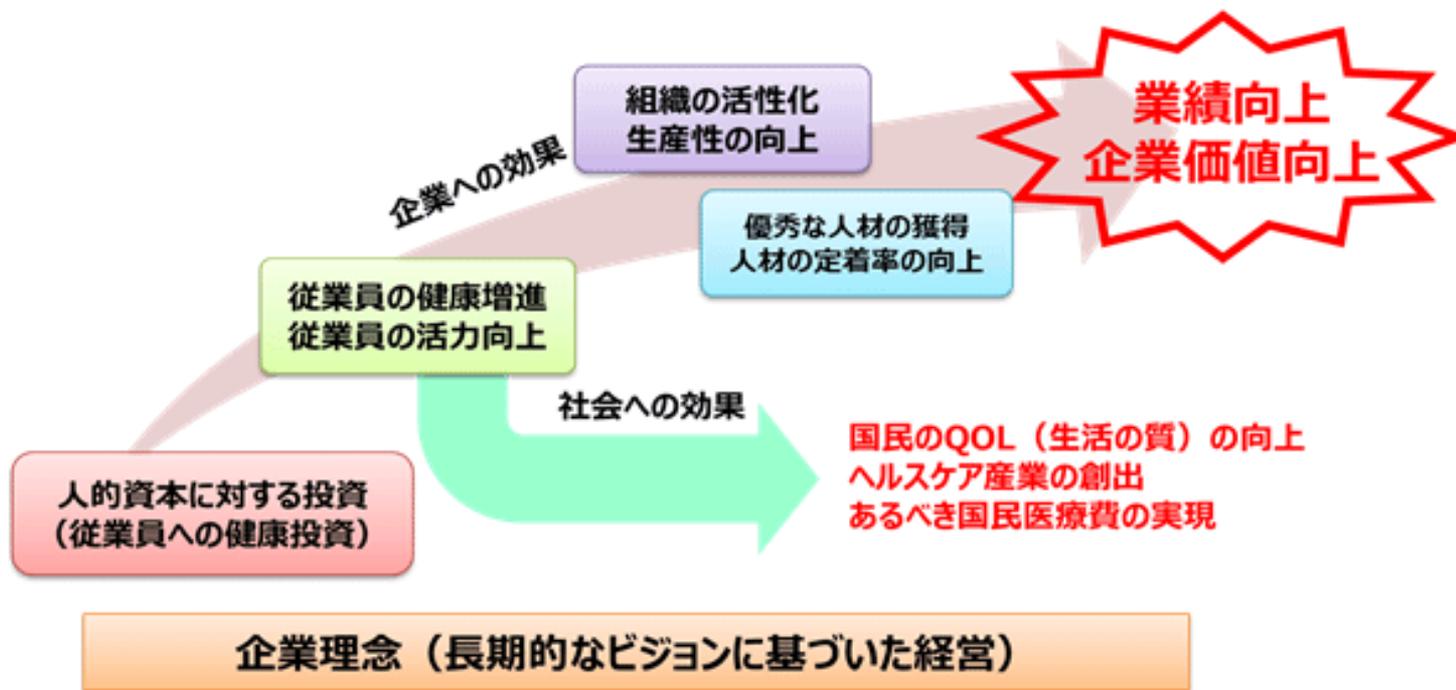


厚生労働省「高齢化対策に関する検討会報告書」



医療費のための資金管理を専用口座へ集約することで
認知症高齢者等による医療費の円滑な支払いを実現するための糸口に

コロナ禍であらためて注目される健康経営
従業員の健康が企業経営の大前提であるという認識が進む



経済産業省「（新）企業の「健康経営」ガイドブック」



健康経営で従業員ロイヤリティの向上と組織活性化を促進
経営者が従業員の健康にコミットすることでESG経営の実践を

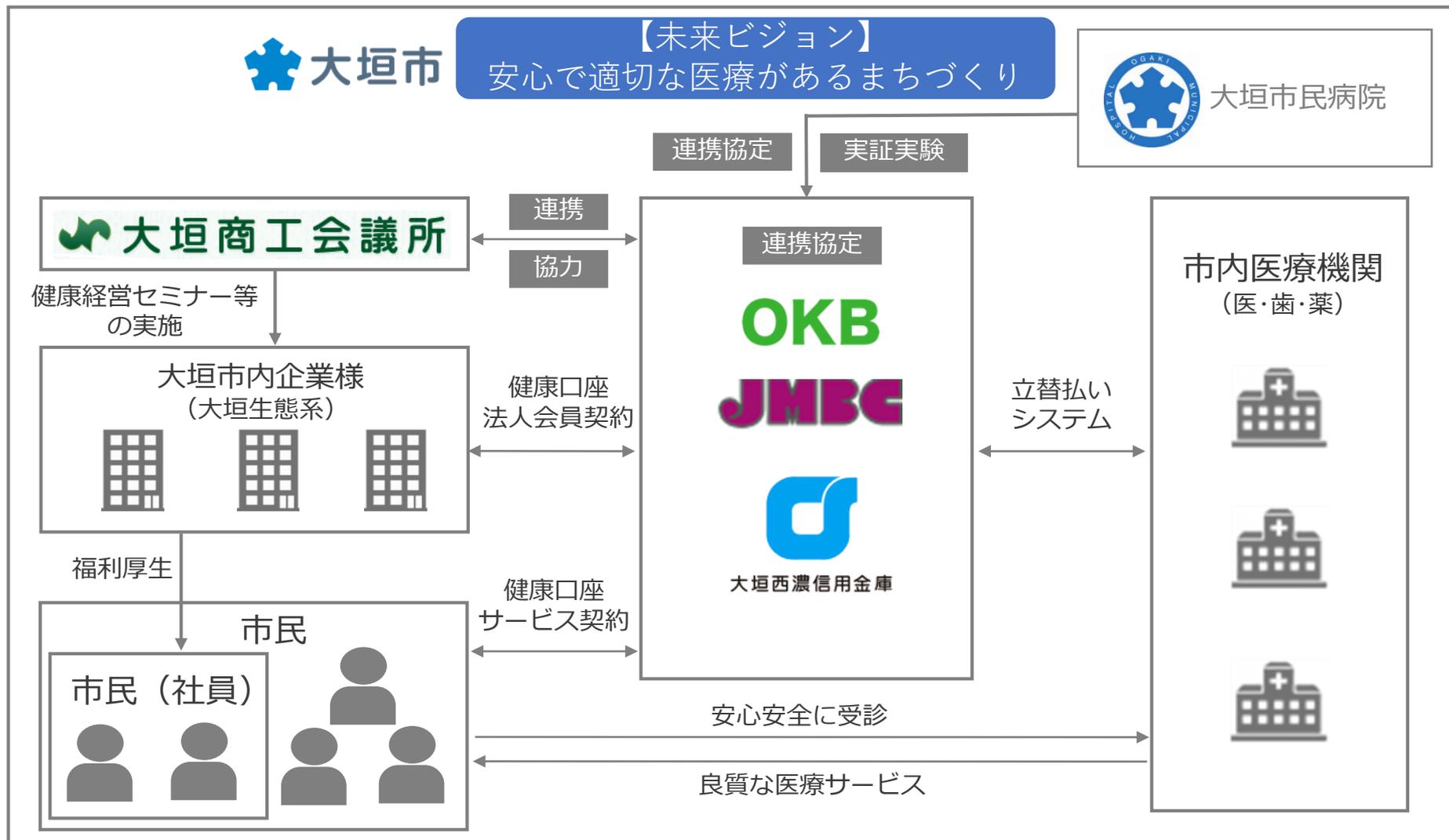
△ O K Bの新サービス

◎ 地域医療に潜む課題の解決

⇒競争ではなく、共創すること

⇒他の金融機関とも積極的に連携していく

地域の医療・健康を取り巻く社会課題の解決を通じた新たな地方創生モデルを構築



「健康口座」を起点とした持続可能なエコシステム



域内外の金融機関とも積極的に連携することにより地域サービスとして確立
ユニバーサルサービスとして全国展開

全国あまねく普及させ、全国的なスタンダードになる
ことによって、サービスの質の向上にもつながる



健康口座にご興味ご関心をお持ちいただけの方は
私どもへお声がけください
皆さまからのお問い合わせをお待ちしております

株式会社大垣共立銀行 I T 統轄部

安田 次郎 TEL : 080-8675-7967 E-mail : j-yasuda@okb.co.jp

羽賀 博之 TEL : 080-8675-7761 E-mail : h-haga@okb.co.jp

小枝 慎司 TEL : 080-8675-8227 E-mail : shinji-saeda@okb.co.jp